

基幹相談支援センターの報告

(令和元年7月～令和元年10月)

1 相談支援体制の強化に向けた会議・研修等の開催実績

(1) 研修会

なし

(2) 出張研修

<実施先>

- ・ 放課後等デイサービス 3か所
- ・ 地域活動支援センター 1か所
- ・ 生活介護 2か所
- ・ 春日井市介護保険居宅・施設事業者連絡会

<依頼のあった主な研修テーマ>

- ・ 「障がい」理解について（1回）
- ・ 障がい福祉サービス従事者の虐待防止に向けた取り組みについて（5回）
- ・ 春日井市の相談支援体制について（1回）

(3) 出張相談

- ・ 令和元年8月6日（火） 10：00～12：00 東部市民センター 4件

<今後の予定>

- ・ 令和元年11月1日（金） 10：00～12：00 西部ふれあいセンター
- ・ 令和元年2月7日（金） 10：00～12：00 味美ふれあいセンター

(4) 支援者のためのサロン

- ・ 令和元年7月17日（水） 参加者6名
- ・ 令和元年8月21日（水） 参加者4名
- ・ 令和元年9月18日（水） 参加者5名
- ・ 令和元年10月23日（水） 参加者2名

2 期間内の取り組みについて

(1) 社会資源を活用するための支援・専門機関の紹介に関する業務

- ・ 触法障がい者の退院支援や、保護措置中である児童の卒業後の支援、シングルマザーの出産・育児支援等、今後社会資源を活用しながら地域で生活していくと思われるケースの支援会議に出席した。

(2) 当事者活動の支援について

- ・ 肢体不自由児者父母の会、手をつなぐ育成会との交流会・意見交換会を行った。
- ・ NPO 法人高次脳機能障害友の会みずほが行う高次脳機能障害家族相談会を、春日井市総合福祉センターで開催することとなり、相談者の紹介や周知啓発に関わっている。

(3) 権利の擁護及び虐待の防止のために必要な援助

- ・ 虐待として認定されなかったケースについても、関係機関と連携し継続的な支援をおこなった。
- ・ 成年後見制度に関して、権利擁護センターや障がい福祉課と連携して、制度についての問い合わせや相談・申請についてサポートを行った。

(4) 地域の関係機関のネットワークについて

- ・ 春日井・江南保健所が主体となり、管轄圏域の行政機関、基幹相談支援センター、障がい者生活支援センター、指定一般相談支援事業者等が提携し、入院病床のある精神科医療機関に対しての地域移行・定着支援事業の周知と推進を目的としたコア機関チームが立ち上げられた。犬山病院・布袋病院で院内スタッフに対し地域移行・定着支援の制度説明と実際の支援の流れを説明し、長期入院者の退院促進の協力を求めた。
- ・ 8050 問題や高齢障がい者の支援のケース増加に伴い、基幹型地域包括支援センターから協力依頼を受けて障がい・高齢分野が協働した事例検討と、障がい者支援についての理解を深めることを目的に、合同の研修会の開催に向けて連携を図っている。